

1 公社全体の事業概況

令和3年度の事業は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、乗馬教室及びイベント等を休止した。放牧部については、新型コロナウイルスや国際情勢の影響により、燃料費及び飼料費の高騰で畜産を取り巻く経営は厳しい状況となった。

決算においては、馬の里事業は3,774千円の黒字決算、放牧事業は4,238千円赤字決算となり、公社全体では464千円の赤字決算となった。馬の里事業の黒字の要因としては、収入では帯広畜産大学受託事業、栗島浦村受託事業を確実に遂行し、また一定の預託馬を確保したことによる乗用馬預託料収入増、支出については、職員の補充ができなかった事による人件費減があげられる。放牧事業の赤字の要因は、収入でキャトルセンター利用料は増加したものの放牧利用料は減少となり、支出で購入飼料費、燃料費の高騰が大きな赤字の要因となった。その他、資材費や敷料費、光熱費などが値上げとなっており費用が増加している。

令和4年3月1日に、令和3年度経営改革検討委員会を遠野市畜産振興センターにて開催した。

2 遠野馬の里事業報告

(1) 事業概況

- ・令和3年度は、乗用馬預託の増頭、公社所有馬の市場販売、継続受託事業、事業管理費等の経費削減に努めた結果、黒字収支が保たれた。
- ・6月に発生した大雨及びひょうの災害復旧工事として、屋根付き連絡馬道等修繕工事、乗馬厩舎3棟の屋根破損修繕工事、調整池排水工事を行った。
- ・第48回遠野市乗用馬市場は昨年度同様、購買者、関係者限定を限定するなど感染防止を徹底して開催した。また、昨年度も新規購買者を開拓するためWi-Fiによりインターネットにてライブ配信した。その結果、後日、主取りになった馬の販売に繋がった。

(2) 競走馬施設管理事業

競走馬施設管理事業は、(株)遠野トレーニングセンターに引き続き施設を貸し出し、施設営繕の管理受託を確実に遂行した。令和3年度施設利用実績は、昨年度を上回る平均67.2頭となり、安定的な頭数を確保し、大きな問題の発生もなく経過し、運営が円滑に行われるよう事務的支援に努めた。

【競走馬利用頭数】

(頭)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
R3	61.5	52.7	53.3	56.4	62.2	68.0	63.8	68.9	77.4	83.5	84.3	74.0	67.2
R2	60.5	61.7	54.1	50.0	44.5	40.5	43.4	47.8	53.1	63.3	76.6	69.4	55.4

(3) ホースパーク事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、馬事イベント等が中止となり、計画の収入を確保することできなかったが前年度より増となり、コロナ過の中、出来る限りの乗馬教室、ドライビングスクール乗馬体験、希望する各保育園等の受け入れに努めた。

「遠野緑峰高校馬事研究会」については、遠野市及び学校側との連携強化を図り、馬の里内で円滑に活動が推進された。また、「子供流鏝馬」の練習に職員が指導にあたった。

【利用者数】※ふれあい体験数は、遠野馬の里施設内利用者数

年 度	ふれあい体験 引馬利用者数	乗馬教室	合計
R3 実績数値	320 人	73 人	392 人
R2 実績数値	236 人	62 人	298 人

(4) 乗用馬育成事業

調教馬、養老馬及び長期間預託の繁殖預託馬の確保に努め、計画頭数（14 頭）を確保した。また、新潟県粟島浦村から委託された「馬管理現地指導業務」及び「帯広畜産大学受託事業」を円滑に遂行し収入確保に努めた。

遠野市乗用馬市場については、昨年度設置した Wi-Fi を活用したインターネットライブ配信を実施。そのことにより、市場後の販売に繋がった。積極的に情報発信した結果、上場頭数が少なかったことにより総売上は減少したものの、売却率は 76.5%となり昨年度を上回った。繁殖事業においては、種付頭数の増加し受胎率では昨年度並みに高い受胎率に推移した。又、日本馬事協会からの輸入凍結精液を活用した。

各種結果は下記のとおりである。

【乗用馬預託（月平均）】

※越冬は 12/1～3/31 の平均

年 度	調教馬	休養馬	補助馬	越冬放牧	合 計
R3 実績頭数	4 頭	6 頭	6 頭	14 頭	30 頭
R2 実績頭数	5 頭	3 頭	4 頭	14 頭	26 頭

※調教馬に帯広畜産大学預託馬を含む

【第 48 回遠野市乗用馬市場結果】

(全 体)

(万円)

年 度	上場頭数	販売頭数	売却率	最高価格	最低価格	平均価格	総合計
R3 年度	17 頭	13 頭	76.5%	260	40	79.2	1,347
R2 年度	23 頭	17 頭	73.9%	200	40	108.1	1,839

(内訳)

馬 齢	上場頭数	販売頭数	売却率	R2 売却率	備考
2 歳馬以上	4 頭	4 頭	100%	100%	調教馬（他施設調教馬除く）
1 歳馬	9 頭	6 頭	66.7%	71%	
その他	4 頭	3 頭	75.0%		管内生産・小格馬・他施設調教馬

(購買申込者数)

年 度	数
R3 年度	27 団体
R2 年度	30 団体

【公社所有馬販売実績】

馬 名	馬 齢	性別	販売金額（税抜）
ラバノライアン 11	3 歳	セン	1,510,000 円

【繁殖事業状況】

【交配状況等】

種別	R3年度	R2年度
乗用馬	37頭	34頭
農用馬	12頭	8頭
合計	49頭	42頭

乗用受胎率 64.9%

農用受胎率 58.3%

【供用種雄馬別の種付頭数】

種雄馬名	種別	種付数	受胎数	受胎率
ラバノ	乗	3頭	3頭	100%
ウェルダン	乗	20頭	13頭	65.0%
ソル	乗	9頭	4頭	44.4%
アイムタッカー	乗	1頭	0頭	0%
ヤングメドウ	乗	1頭	1頭	100%
輸入凍結 (馬事協)	乗	3頭	3頭	100%
腕髪	農	12頭	7頭	58.3%

※輸入凍結は受胎のみを計上(種付頭数12頭・受胎しない馬は別の種雄馬に変更)

(5) 施設改修(災害復旧)等

施設改修工事

工事名	金額(税抜)	財源
覆馬場前通路路盤及び排水修繕工事	1,330,000円	市補助
覆馬場火災報知器設置工事	1,950,000円	自主財源
乗用馬厩舎建具改修工事	4,200,000円	市補助
管理事務所前舗装工事	429,000円	市補助
合計	7,909,000円	

災害復旧工事

工事名	金額(税抜)	財源
厩舎屋根ひょう被害修繕工事(乗馬3厩舎)	940,000円	市補助
調整池排水修繕工事	150,000円	市補助
屋根付き連絡馬道等大雨被害修繕工事	1,880,000円	自主財源
合計	2,970,000円	

(6) 共通事項

防疫体制については、従前どおり、種付入厩前、夏山放牧前の馬パラチフス検査を実施した。

事業経過報告

		内 容
4 月	1 日	辞令交付式(新採用・昇格)
	21 日	遠野市観光推進協議会
	21 日	競走馬堆肥場修繕工事(～23日)
5 月	2 日	遠野馬の里ダートリレーマラソン大会(主催:遠野市陸協)・馬とのふれあい体験等実施
	3 日	ふるさと村春まつり引馬体験(～4日)
	6 日	遠野小学校ふれあい体験
	13 日	公社経営改革検討委員会
	13 日	東北馬力大会馬の里遠野大会第1回運営会議
	14 日	のびっこ教室(セラピー)①
	17 日	一般社団法人遠野市畜産振興公社監査
	18 日	これからだクラブ見学
	20 日	ジャンプ教室(セラピー)①
	24 日	一般社団法人遠野市畜産振興公社通常総会・理事会(R2決算)
30 日	障がい者交流事業(遠野市社会福祉協議会)①	
6 月	1 日	全国やぶさめ競技遠野大会実行委員会総会
	5 日	青笹小学校ふれあい体験
	7 日	覆馬場火災報知設備工事(～11日)
	15 日	集中豪雨に係る調査
	18 日	集中豪雨に係る逍遙馬道及び屋根付き連絡馬道工事(～23日)
	21 日	覆馬場火災報知器消防点検
	24 日	浄化槽汚泥処理
	27 日	障がい者交流事業(遠野市社会福祉協議会)②
	27 日	土淵町小学校ふれあい体験
28 日	「馬の流通に係る若手後継者による上場馬調教事業」(～30日):主催 全乗振	
7 月	1 日	ジャンプ教室(セラピー)③(②回目中止)
	9 日	のびっこ教室(セラピー)③(②回目中止)
	10 日	土淵児童クラブふれあい体験
	11 日	障がい者交流事業(遠野市社会福祉協議会)③
	18 日	全国やぶさめ競技遠野大会
	19 日	覆馬場前馬道及ぶ排水工事(～24日)
	26 日	岩手競馬振興議員クラブ調査研究会視察(主催:岩手県競馬改革室)
	28 日	遠野市出資法人監査 10時「畜産振興センター」
28 日	深部注入技術によるAIの受胎率向上のための研修会(主催:日本馬事協会)	
8 月	1 日	障がい者交流事業(遠野市社会福祉協議会)④
	3 日	遠野緑峰高校インターシップ(～4日)
	3 日	のびっこ教室(セラピー)④
	5 日	ジャンプ教室(セラピー)④
9 月	10 日	のびっこ教室(セラピー)⑤
	15 日	職場体験学習(遠野中学校 ～16日)
	16 日	ジャンプ教室(セラピー)⑤
	21 日	宮守町交通安全パレード

10月	7日	調整池水質検査(県)
	25日	第48回遠野市乗用馬管理共励会
	26日	第48回遠野市乗用馬市場
	29日	遠野馬の里施設消防点検査察
11月	9日	遠野市における馬産産業に関する視察(福島県南相馬市)
	11日	青笹小学校ふれあい体験
	14日	障がい者交流事業(遠野市社会福祉協議会)⑥(⑤回目中止)
	16日	遠野東中学校職場体験
	25日	公社上半期決算内部監査
	25日	大阪府立茨木高等学校ふれあい体験
12月	1日	遠野市畜産振興公社臨時総会・理事会(役員改選及び上半期決算報告)
	3日	宮古清風支援学校ふれあい体験
1月	4日	仕事始め式
	20日	臨時種畜検査(馬事協・大浦牧場)
	25日	東北馬力大会馬の里遠野大会第2回運営会議
2月	17日	令和4年度種付生産者説明会
3月	1日	一般社団法人遠野市畜産振興公社経営改革検討委員会
	16日	一般社団法人遠野市畜産振興公社通常総会・理事会(予算)
	31日	退職辞令交付式

3 放牧事業報告

(1) 事業概況

放牧事業については、公共牧野の広大な面積と豊富な草資源を有効に利用し、草地の効率的な管理運営並びに受託放牧を中心とした合理的な牧場経営の推進を図った。

令和3年度からの牧場再編にともない3牧場から荒川と寺沢の2牧場に集約して実施したが、利用農家の混乱もなくスムーズな運営ができた。また、高清水牧場は採草地として可能な限り活用し粗飼料確保に努めた。

キャトルセンター事業については、夏期放牧と連動しながら施設の効率的な活用を図り預託牛の飼養管理に取り組んだ。施設の利用状況は、農家からの利用頭数が若干増加し、利用料収入も増となった。

受託事業では、遠野市の堆肥センターの運営にかかる「遠野市堆肥センター運営業務」や、昨年引き続き「市営牧野草地更新作業業務」を遠野市から受託し、寺沢牧場で11.5haの耕起をともなう簡易草地更新を実施した。

経営面では、令和2年度の天候不順によるキャトルセンター用の購入牧草が増えた影響と、配合飼料の大幅な値上がりにより経営収支の大きなマイナス要因となった。

その他、粗飼料生産販売事業、子牛生産販売事業、補助事業等に取り組み経営の健全化に努めた。

(2) 放牧事業

放牧事業では、看視員の研修や利用者との懇談会の開催、牧場検診時の利用者の出役の軽減などを実施しサービスの向上に努めた。

放牧利用状況は、黒毛和種の利用農家と放牧頭数が前年より減少し、乳用種と馬の放牧頭数は若干増加した。

防疫対策として、牛はマグネシウム剤の投与やバイチコール塗布の実施、馬については馬パラチフス検査の実施により、牧場内での疾病の発生を抑制できた。

* 放牧頭数実頭数年度推移

牧場名	畜種	H30	R1	R2	R3	
寺 沢	黒毛和種	1 5 2頭	1 5 1頭	1 3 2頭	1 4 1頭	3 0戸
	乳用種	1 5頭	5頭	9頭	1 3頭	2戸
	馬	2 0頭	3 4頭	3 6頭	2 2頭	1戸
荒 川	黒毛和種	2 4 3頭	2 3 3頭	2 5 8頭	2 4 7頭	4 8戸
	短角種	1頭	2頭	1頭	0頭	0戸
	馬	1 0 8頭	9 7頭	1 0 2頭	1 3 5頭	2 7戸
高清水	黒毛和種	1 4 6頭	1 3 7頭	1 0 0頭	0頭	0戸
石羽根	馬	4 3頭	4 3頭	4 7頭	5 1頭	1 6戸
合 計		7 2 8頭	7 0 2頭	6 8 5頭	6 0 9頭	1 2 4戸

(3) キャトルセンター事業

キャトルセンター事業では、農家からの利用頭数が若干増加したことにより利用料収入も前年を上回った。

農家戸数は減少しているが1件あたりの利用頭数が増えており、大野平・石羽根キャトルセンターのいずれも高い利用率で推移している。

* 預託実頭数

区分		農家預託	公社牛	合計	農家戸数
大野平	成牛	219	67	286	33戸
	哺育・育成	241	79	320	
石羽根	成牛	239	0	239	
合計		699	146	845	33戸

* 預託実頭数年度推移

区分	H30	R1	R2	R3
農家預託	699頭	640頭	665頭	699頭
公社牛	175頭	170頭	158頭	146頭
合計	874頭	810頭	823頭	845頭
農家戸数	43戸	44戸	38戸	33戸

(4) 収益事業

収益事業として、粗飼料生産販売事業、子牛生産販売事業に取り組んだ。

粗飼料生産販売事業は、2番草時期の天候不順の影響と一部草地更新を行ったことで採草面積が減少したが、収穫量は前年を若干上回った。子牛生産販売事業では、子牛の平均販売価格は前年を上回ったが、繁殖素牛頭数が減少しており、子牛頭数販売頭数は前年より大きく減少した。

* 粗飼料販売実績

規格	ランク	生産計画	生産実績	販売実績
ラップロール	Aランク	600個	455個	455個
	Bランク	600個	363個	208個
合計		1,200個	818個	663個

(R2実績 生産791個、販売655個)

* 公社牛販売実績

内 容	備 考
販売頭数 54頭 総額 2,641万円 (税込) ※ 正味財産計算書は税抜価格及び手数料を引いた額を計上	成牛15頭 子牛39頭
【内訳】 ・ 去勢 23頭 平均体重 314 kg 平均価格 705 千円 (税込) ・ 雌 16頭 平均体重 288 kg 平均価格 634 千円 (税込)	

*販売頭数年度推移

区 分	H30	R1	R2	R3
成 牛	9頭	15頭	13頭	15頭
子 牛	49頭	44頭	51頭	39頭
合 計	58頭	59頭	64頭	54頭

(5) 受託事業

下記の受託事業について実施した。

業務名	業務内容
遠野市堆肥センター運營業務	遠野市堆肥センターに職員を配置し、堆肥の製造、運搬、管理等の業務を行った。
市営牧野草地更新作業業務	市営牧野の放牧地及び採草地を更新するため、寺沢牧場において更新作業を行った。
利用自肅牧草倉庫内移動業務	中部集中保管施設内に保管されている利用自肅牧草の放射能検査のため、牧草ロールの移動作業を行った。

事業経過報告

年 月 日	処 理 事 項
4月 12日	寺沢看視員会議
20日	荒川看視員会議
27日	寺沢牧野里山開牧
5月 11日	寺沢里山牧野検診
17日	寺沢夏期放牧開始
20日	荒川開牧
20日	公社監査
24日	第1回通常総会及び理事会、第2回理事会
6月 3日	荒川馬の検診
7日	荒川牧野検診
8日	寺沢牧野検診
24日	荒川馬の検診
7月 5日	荒川牧野検診
6日	寺沢牧野検診
15日	荒川馬の検診
28日	遠野市が出資する法人の監査
8月 2日	荒川牧野検診
3日	寺沢牧野検診
19日	キャトルセンター運営会議
9月 6日	荒川牧野検診
7日	寺沢牧野検診
10月 4日	荒川牧野検診
5日	寺沢牧野検診

	7日	キャトルセンター運営会議
	24日	寺沢夏期放牧終了
	31日	荒川閉牧
11月	9日	寺沢里山牧野検診
	9日	荒川牧場視察(南相馬市)
	20日	寺沢里山閉牧
	25日	公社上半期監査
12月	1日	第3回理事会
	16日	遠野地方和牛改良組合畜霊祭
	20日	放牧利用者への放牧事業報告会
1月	17日	風力発電事業にかかる荒川牧場ヒアリング
	20日	家畜伝染病第5条検査打合せ会議
2月	9日	コントラ作業打合せ会議
	17日	代替餌場
3月	1日	経営改革検討委員会
	16日	第4回理事会及び通常総会